

「受けるより、与える方が幸い」

～良い種を蒔いたら、良い実を刈り取る！～

「わたしは、あなたがたもこのように働いて、弱い者を助けなければならないこと、また『受けるよりは与える方が、さいわいである』と言われた主イエスの言葉を記憶しているべきことを、万事について教え示したのである」
使徒行伝20章35節

年末に観た映画の中で、素晴らしいものがありました。一つは、「ビューティフル・レターズ」、もう一つは、「サンタ・ボックス」。いずれも、若者がひとりの老人に出会って、その一つ一つの体験的なことばを通して、人生とは？、また、本当の幸せとは？という内容について考えさせられ、成長していくという内容でもあり、クリスマスの時に考えたい内容をひと時、足をとどめて考えさせる素晴らしい内容の映画でした。

その後半の、「サンタ・ボックス」で登場した老人は、ユダヤ人で、戦争中ドイツで大変な苦痛を味わいましたが、そんな時に、クリスマスの思い出として、敵兵であるドイツ兵がクリスマスの心がかつて少年だった老人の心に伝え、そのクリスマスの心を持って生きていく一人のユダヤ人として成長していきます。彼はユダヤ人でクリスチャンではありませんでしたが、イエスを尊敬し、その愛と赦しの心を持って生きることの大切さをしっかりと自覚した人物でした。そして、その生き方を人生を通して伝えていく、クリスマスはそんな大切なときなのだということを一人の少女に語り伝えていきます。

また、前半の「ビューティフル・レターズ」では、一人のサムというペンネームで電話帳に書かれているすべての家に手紙を送り続けている老人ホーム生活をしている孤独な老人が登場しますが、彼は、その手紙を通して、神からインスピレーションを受けたことばを次々と書き綴って、多くの人々に励ましと勇気を与えていきます。その手紙を突然受け取った女子高生はびっくりして、その送り主を探し続けて、ついにサムに出会います。そして、自分の事ばかりでなく、他人のことを意識して、必要な人を見つけて、手紙を渡すことを手伝うようになります。そして、それまではその女子高生は自分には何もできないと思い込んでいましたが、サムに励まされ続ける中で、自分に与えられている歌うことを通して、人々を勇気づけ、感謝を伝え、励ますことができることに目覚め始めます。そして、不良のような学生でしたが、その生き方、考え方が変わり、積極的に良い生き方を自分から始めるようになります。

双方の映画で訴えかけてきたことは、「良い種を植えたら、良い実を結ぶようになる。」そう単純ではありませんが、その法則は成り立つということです。決してあきらめずに、良い種を蒔き続けることを継続していくことは本当に素晴らしい結果を見ることになると思っています。2023年、今年も共に勝利の主を見上げ、決してあきらめずに、天の恵みを感じながら、勝利の種を蒔き続けていきましょう！